

令和7年度九州地区高等学校通信制教育研究会 総会並びに研究協議会（長崎大会） 実施報告書

事項	内 容
事業名	令和7年度九州地区高等学校通信制教育研究会 総会並びに研究協議会（長崎大会）
期 日	令和7年11月27日（木）～令和7年11月28日（金）
開催場所	アルカスSASEBO
主 催	九州地区高等学校通信制教育研究会
後 援	長崎県教育委員会 NHK長崎放送局 NHK出版 長崎県高等学校定時制通信制教育振興会 公益財団法人日本教育公務員弘済会長崎支部
参加者	九州地区高等学校通信制職員 長崎県教育委員会関係者 日本放送協会通信教育担当 NHK出版関係者 全国高等学校通信制教育研究会本部関係者 長崎県高等学校定時制通信制教育振興会関係者
実施目的	高等学校通信制教育における諸問題について、相互理解を図るとともに、調査・研究・協議を通じて通信教育の発展に寄与する。
実施内容	令和7年11月27日（木） 10:00～11:40 秋季連絡会・教務主任会 12:00～12:40 分科会打合せ会 13:40～14:10 開会式・総会 14:20～15:40 記念講演 15:50～17:00 分科会（研究発表・研究協議） 第1分科会「運営・教務」 第2分科会「数学」 第3分科会「進路」 第4分科会「人権教育・教育相談」 第5分科会「放送教育」 18:00～20:00 教育懇談会 令和7年11月28日（金） 9:30～10:40 分科会（研究協議・まとめ） 第1分科会「運営・教務」 第2分科会「数学」 第3分科会「進路」 第4分科会「人権教育・教育相談」 第5分科会「放送教育」 10:50～11:50 全体会（分科会報告）及び閉会式
参加費	加盟校： 3,000円 資料代：3,000円 一般参加：77名
成 果	開会式で主催者の挨拶、来賓よりご祝辞を賜ったあと、記念講演として『ちゃんぽんと長崎華僑』の演題で1899年に長崎市で創業した中華料理四海楼の創業者であり、「ちゃんぽん・皿うどん」を考案した陳平順の曾孫にあたる講師から講演をいただいた。長崎、長崎華僑の歴史に始まり、ちゃんぽん・皿うどんの誕生、長崎華僑の「恩送り」を体現した東北・熊本の震災でのボランティア活動へと話は進んだ。長崎華僑の「恩送り」とは「恩返し」のさらに先を行く、未来へつなぐ相互扶助の精神を指す。大変示唆に富む講演で有意義な時間となった。 午後からの分科会は、 ①「運営・教務」では、宮崎県立宮崎東高等学校 教諭 山下剛 先生より『ICTラボの構築及び成果と課題』の事例発表、長崎県教育庁 高校教育課 新たな学び班 係長 中道義久 先生より講評・助言をいただいた。 ②「数学」では、大分県立爽風館高等学校 教諭 城戸博行 先生より『課題に向かおうとする力の醸成～通信制高校における自学自習力定着への試み～』の事例発表、長崎県教育庁 高校教育課 新たな学び班 指導主事 守慶直 先生より講評・助言をいただいた。 ③「進路」では、福智高等学校 講師 小林義幸 先生より、『本校単位制の進路指導における現状と課題』の事例発表、長崎県教育庁 高校教育課 キャリア教育班 係長 濱田伸 先生より講評・助言をいただいた。 ④「人権教育・教育相談」では、鹿児島県立開陽高等学校 教諭 内山健一 先生より『本校の教育相談の取り組みについて～生徒や保護者に寄り添う支援をめざして～』の事例発表、長崎県教育庁 高校教育課 高校魅力化班 係長 守屋剛明 先生より講評・助言をいただいた。 ⑤「放送教育」では、NHK コンテンツ制作局 第1制作センター 教育・次世代 チーフディレクター 津川明久 様よりNHK ONEについての情報提供、佐賀県立佐賀北高等学校 教諭 永石匡純 先生より『本校の放送教育の現状と課題』の事例発表、全通研放送教育研究委員（目黒日本大学高等学校 教頭）大江律夫 先生より講評・助言をいただいた。 いずれも活発な質疑応答と情報交換の場となり、高い成果を得ることができた。